

耳鼻科検診 今年はこちらがポイント！

「鼻づまりを早く発見して治療すると、病気の予防になります」

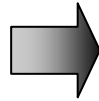
鼻がつまっても、口があれば呼吸はできますが、口呼吸が色々な病気につながっているのを知っていますか？口の中が乾いてむし歯になりやすくなったり、空気中の細菌やウイルスを直接体内へ取り込んでいる状態なので、感染症にかかりやすかったり、病気ではないですが、空気を多く飲み込むので「おなら」が増えます。

検査の受け方



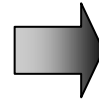
① 耳の中を見ます。

髪の毛を耳にかけておいて下さい。



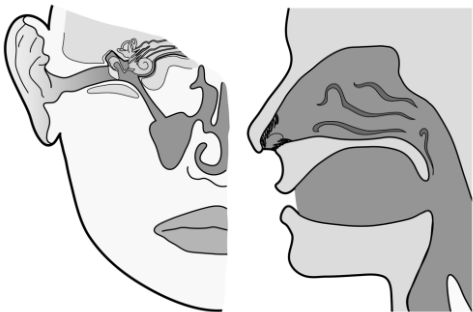
② 鼻の中を見ます。

緊張しないで少し上を向く姿勢で！



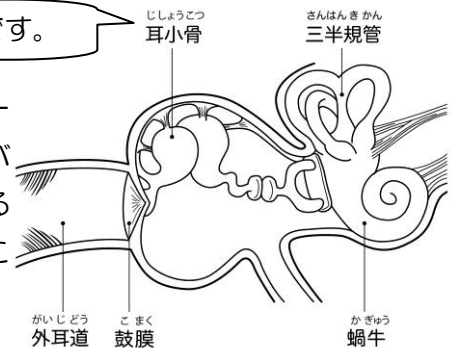
③ のどの奥を見ます。

大きく口をあけて「あー」と声を出すとのが開きます。



人間の骨の中で一番小さい骨です。

耳の奥はこんなに複雑でデリケートです。音を聞くだけでなく、体のバランスも保っています。めまいがする病気の中にはこの耳の奥が原因のこともあります。



鼻と耳とのどは、上の図のようにつながっているの、風邪をひいてこじらせると、中耳炎になったり、副鼻腔炎（ちくのう）になったりするのはそのせいです。

耳、鼻、のどは、呼吸をする、物を飲み込むという、生きていく上で欠かせない役割を持っていると同時に、声を出す、音を聴くなどのコミュニケーションに必要な役割を果たしています。とても大切な器官です。

中耳炎や耳あかを治療しないと プールには入れません。耳鼻科検診で治療のお知らせをもらった人は、すぐに耳鼻科のお医者さんに診ていただきましょう。

耳鼻科検診でよく見つかる病気！

■耳垢栓塞（耳あか）

耳垢がたくさんたまって聞こえが悪くなります。

■副鼻腔炎

鼻がつまって黄色い鼻水が出ます。頭痛も起こります。

■急性・慢性中耳炎

耳の中にウイルスや細菌が入って突如の痛みがおこります。放置すると浸出性中耳炎となり難聴の原因にもなります。

■アレルギー性鼻炎・鼻かぜ

花粉やダニなどのハウスダストによってくしゃみ鼻水、鼻づまりがひどくなります。